

令和2年10月30日(金)
国土交通省関東地方整備局
統括防災官グループ

記者発表資料

首都直下地震の発生に備え実動訓練を実施します

関東地方整備局では、首都直下地震の発生に備え、一層の災害対応力の向上の為、11月6日(金)に実動訓練を実施します。

1. 目的

救命救急活動や緊急支援物資の輸送など円滑な緊急活動を支援するため、道路啓開・水路啓開・航路啓開や大規模浸水地域排水などを実施し、実動訓練を通じてオペレーションの機能性、有効性を確認し、より一層の災害対応能力の向上を図ることを目的に実施します。

また、訓練を通じ関係機関との連携を深めるとともに、職員の災害対応能力の向上を図ります。

2. 日程

令和2年11月6日(金) 【予備日 11月13日(金)】

3. 訓練概要(主な内容)

訓練名:首都直下地震防災訓練(実動訓練)

1)河川関連訓練

時間 : 9:50~12:00 (受付時間 9:15~9:45)

場所 : 荒川河川敷(荒川ロックゲート周辺)

- ・大規模浸水地域排水訓練
- ・物資支援訓練
- ・水路啓開訓練
- ・燃料供給訓練
- ・UAV被災状況調査訓練

2)道路関連訓練

時間 : 9:45~12:00 (受付時間 9:15~)

場所 : 国営昭和記念公園立川口駐車場

- ・道路啓開訓練

3)港湾空港関連訓練

時間 : 13:00~15:30 (受付時間 12:40~)

場所 : 東扇島地区基幹的広域防災拠点(川崎市川崎区東扇島東公園)

- ・緊急確保航路啓開訓練
- ・緊急支援物資海上輸送訓練
- ・帰宅困難者輸送訓練
- ・感染症対策施設設置・活用訓練

※実施時間は変更になることがあります。

4. 訓練中止の取り扱い

- 1) 管内で地震災害・風水害等が発生した場合は延期となります。
その場合については、別途、記者発表にて、連絡させていただきます。
- 2) 予備日においても、管内で地震災害・風水害等が発生した場合は、中止となります。

5. 取材希望

取材を希望される報道関係者は、11月4日(水)15:00までに別紙「取材申込書」を用いて災害対策マネジメント室に申し込みをお願いします。

なお、訓練会場では、各種訓練を実施しておりますので、現地スタッフの指示に従って下さい。

新型コロナウイルス感染予防対策として、マスク着用、密集回避にご協力ください。

また、取材時には、必ず腕章又は身分証明書を着用いただくようお願いいたします。着用が無い場合は、取材をご遠慮いただく場合があります。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 都庁記者クラブ 埼玉県政記者クラブ
横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会 川崎記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局

【訓練全般】

災害対策マネジメント室長	遠藤 武志
災害対策マネジメント室 課長補佐	本住 武司

【河川関連訓練】

河川部 河川管理課 建設専門官	藤井 俊行
-----------------	-------

【道路関連訓練】

道路部 道路管理課 課長補佐	富澤 成実
----------------	-------

【港湾空港関連訓練】

港湾空港部 首都圏臨海防災センター センター長	伊勢 勉
課長補佐	畠山 隆大

災害対策マネジメント室	048-600-1310 (ダイヤルイン)
河川部河川管理課	048-600-1338 (ダイヤルイン)
道路部道路管理課	048-600-1345 (ダイヤルイン)
港湾空港部首都圏臨海防災センター	044-281-2330 (ダイヤルイン)

令和2年度 首都直下地震防災訓練 取材申込書

返信先：国土交通省 関東地方整備局 災害対策マネジメント室

FAX：048-612-2092

※記載漏れの無いようお願いいたします。

社名	
部署	
所属記者クラブ名	
取材者氏名 (全員の氏名を記入)	
連絡先	会社電話番号 TEL : FAX :
	携帯電話番号
	E-mail
取材方法	写真撮影 ・ 映像撮影 ・ その他 ()
取材を希望される 訓練会場 (複数回答可)	① (河川関連訓練) 荒川河川敷 訓練会場 ② (道路関連訓練) 国営昭和記念公園 訓練会場 ③ (港湾空港関連訓練) 東扇島地区基幹的広域防災拠点 訓練会場
来場方法・予定	① ・公共交通機関 ・車(台数: 台) (車両ナンバー:) ・来場予定時間 : 時 分頃
	② ・公共交通機関 ・車(台数: 台) (車両ナンバー:) ・来場予定時間 : 時 分頃
	③ ・公共交通機関 ・車(台数: 台) (車両ナンバー:) ・来場予定時間 : 時 分頃

【個人情報の御記入にあたって】

御記入いただきました個人情報は、今回の取材に関する管理、御連絡のみに利用させていただきます。

本返信状への個人情報の記入に関しましては、同意いただいた場合にのみ御記入・御返信をお願いします。

【お申し込みについての問い合わせ先】

国土交通省 関東地方整備局

災害対策マネジメント室(担当:本住、稲垣)

TEL:048-600-1310

※取材申込みをされた記者の方には、訓練中止の際は、連絡させていただきます。

令和2年度 首都直下地震防災訓練会場位置図



出典：国土地理院ウェブサイト (<https://maps.gsi.go.jp/>)

荒川河川敷 訓練会場〔荒川ロックゲート周辺〕

令和2年度 首都直下地震防災訓練

■ 訓練日時

- ・令和2年11月6日(金) 9:50~12:00
(受付時間 9:15~ 9:45)

■ 訓練会場

- ・荒川河川敷(荒川ロックゲート周辺)

■ 主な訓練内容

- ・大規模浸水地域排水訓練
- ・物資支援訓練
- ・水路啓開訓練
- ・燃料供給訓練
- ・UAV被災状況調査訓練



- 住所
東京都江戸川区
小松川1丁目1
- 最寄駅
都営新宿線東大島駅
小松川出口より
徒歩約10分

9:50~11:40予定

・UAV被災状況調査訓練

10:45~11:15予定

水路啓開訓練

9:50~12:00予定
大規模浸水地域排水訓練

11:00~11:40予定
物資支援訓練

11:00~11:40予定
燃料供給訓練



国営昭和記念公園会場(道路啓開訓練) 令和2年度 首都直下地震防災訓練

■ 訓練日時

- ・令和2年11月6日(金) 9:45~12:00
(受付時間 9:15~)

■ 訓練会場

- ・東京都立川市
国営昭和記念公園(立川口駐車場)

■ 主な訓練内容

- ・緊急巡回(バイク隊)
- ・災対法による区間指定・通行規制訓練
- ・検問所設置・標章発行訓練
- ・路面段差処理訓練
- ・路上がれき撤去訓練
- ・責任啓開事務所報告訓練
- ・放置車両移動訓練
- ・倒壊電柱の通電確認訓練

訓練会場位置図



■ 会場へのアクセス

- ・電車でお越しの場合
JR中央線「立川駅」より
徒歩約15分
多摩都市モノレール「立川北駅」より
徒歩約13分
- ・車でお越しの場合
中央自動車道「国立府中IC」より
約8km

東扇島会場(第一部)

令和2年度 首都直下地震防災訓練



○実施日時:
令和2年11月6日(金) ※予備日 11月13日
13:00~14:00頃 (受付時間 12:40~)

○実施場所:
東扇島防災拠点(川崎市川崎区)

★第一部(発災~おおむね24時間)

アクセス

- ・住所: 川崎市川崎区東扇島58-15
- ・最寄りバス停: 川崎駅から市営バス(川105)で「東扇島東公園前」下車徒歩5分
- ・最寄りIC: 東扇島インターから車で約8分

②人命救助訓練
(川崎市臨港消防署・川崎DMAT)

③緊急輸送路啓開訓練
(JAF神奈川支部)

⑫帰宅困難者輸送訓練

①要員参集訓練

川崎市・近隣企業

整備局・運輸局・川崎市

東扇島会場(第二部)

令和2年度 首都直下地震防災訓練

⑰物資輸送訓練(海自)
東扇島31号(耐震) → 被災自治体



⑬水中ドローンによる被災調査(海洋調査協会)



⑯緊急確保航路啓開訓練(整備局・海保)
障害物撤去



○実施日時:
令和2年11月6日(金) ※予備日 11月13日
14:00~15:15頃 (受付時間 12:40~)
○実施場所:
東扇島防災拠点(川崎市川崎区)

⑭GNSSを用いた岸壁変形計測(港湾空港技術研究所)



⑮応急復旧(仮設橋梁)訓練(埋立浚渫協会)



★第二部(応急復旧完了~)



アクセス

- 住所: 川崎市川崎区東扇島58-15
- 最寄りバス停: 川崎駅から市営バス(川05)で「東扇島東公園前」下車徒歩5分
- 最寄りIC: 東扇島インターから車で約8分

⑱感染症対策施設設置・活用訓練(埋浚協会・川崎DMAT・川崎臨港消防署・整備局)



※河川部局と合同の訓練
08:00発-11:00到着予定

⑰緊急物資海上輸送訓練(埋立浚渫協会)

川崎港運協会
舟運岸壁での台船への積込

訓練概要

1. 日 時:平成30年11月9日(金) 3. 主 催:国土交通省 関東地方整備局
 2. 訓練会場: 2. 参加機関:国・地方公共団体・公共機関等 計73機関・団体 約670名参加
 本局(さいたま庁舎)、荒川ロックゲート、
 国営昭和記念公園西立川口駐車場、
 東扇島地区基幹的広域防災拠点、
 板橋トラックターミナル、関東技術事務所、
 有馬ダム(埼玉県飯能市)

訓練目的

- 首都直下地震の発生に備え救命救急活動や緊急支援物資の輸送など円滑な緊急活動を支援するため、道路啓開・水路啓開・航路啓開や大規模浸水地域排水などを実施し、実動訓練を通じてオペレーションの機能性、有効性を確認し、より一層の災害 対策能力の向上を図る。
- 訓練を通じ関係機関との連携を深めるとともに、職員の災害対応能力の向上を図る。

本部会議訓練

○道路及び河川などの直轄施設の被災状況の報告を行うとともに、テレビ会議により、責任啓開事務所、重大被災支部、東京都及び陸上自衛隊と被害報告や支援要請などについて確認を行った。



本部会議



本部長指示

道路啓開訓練

○平成28年6月に策定された「首都直下地震道路啓開計画(改訂版)」に基づき、放置車両の移動、路面段差解消等の訓練を実施した。
 ○また、UAV(ドローン)による被災状況調査、電力事業者と連携した倒壊電柱の移動訓練を実施した。



路面段差の解消



放置車両の移動

大規模浸水地域排水訓練

○江東デルタゼロメートル地帯の大規模な浸水被害に対応するため、関東地方整備局の排水ポンプ車等の災害対策車両により排水作業を実施した。



排水ポンプ車の配置



排水活動の実施

緊急支援物資輸送訓練

○道路、河川、港湾が相互に連携し、緊急用河川敷道路などの河川防災施設を活用した、広域輸送基地(板橋トラックターミナル)までの緊急支援物資輸送訓練を実施した。



支援物資の荷卸し



緊急用河川敷道路を活用した物資輸送

航路啓開訓練

○平成27年4月に策定された「港湾における首都直下地震発生時の震後行動計画」に基づき、実動訓練を実施した。
 ○自衛隊の船舶を用いた緊急物資海上輸送訓練を実施した。



大型漂流物の撤去



海底障害物の撤去

進出本部対応訓練

○進出本部である関東技術事務所において、TEC進出本部の派遣要員による進出本部の立上げを実施した。



応接掛へのメール配信



進出本部の立ち上げ

本局への報告